

**決算
審査**

令和5年度事業を

認定

町の予算がきちんと執行されたか、慎重審議し、全ての会計決算を認定しました。
そのなかで、議会が注目した事業を紹介します。



ペーパーレス本格始動

310万円

議員各1台のタブレット端末導入により完全ペーパーレス化を実現



町営グラウンド 整備器具購入

776万円

町営グラウンド管理用のトラクター及び集草機の経年劣化による更新



丹荘駅前花壇(ロータリー) 整備事業

195万円

環境整備により、公共交通の利用促進及び利用者の利便性を向上。

海洋センタープール跡地 利用事業

2178万円

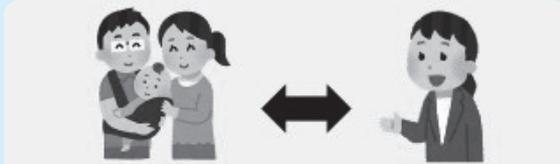
利用休止していたB&G海洋センタープール(昭和58年開設)は、老朽化により解体工事を実施。今後は新たなスポーツ施設の整備が予定されている。



デマンド交通 事前調査

209万円

新たな交通手段として、デマンド交通の実施に向けた事前調査を行った。



伴走型相談支援による面談等の実施を通じた、**信頼関係（顔の見える関係）の構築**

出典：「出産・子育て応援交付金の実施・運用の方法」(厚生労働省)



出産子育て応援交付金

535万円

妊娠届出時（5万円）、及び出産届出後（5万円）計2回の応援交付金

幼保給食費無償化

424万円(※1)

子どもを安心して産み育てる事ができる環境づくりの促進のため、3歳から5歳の保育所・幼稚園児に給食費無償化を実現

(※1)軽減額となり、実際の決算額とは異なります。

带状疱疹ワクチン

92万円

50歳以上の町民を対象に带状疱疹の発症、重症化予防のための接種費用の一部を92人に助成。

厚生労働省：ワクチン啓発パンフより



出典：「送迎バスの置き去り防止を支援する安全装置のガイドライン」(国土交通省)

幼稚園バス安全装置

26万円

神川幼稚園の送迎用バスに、置き去り防止の安全装置を取付け。

総合福祉センター複合化

39万円

保健センターの成人部門移転により成人期～高齢期までの健康増進を図る

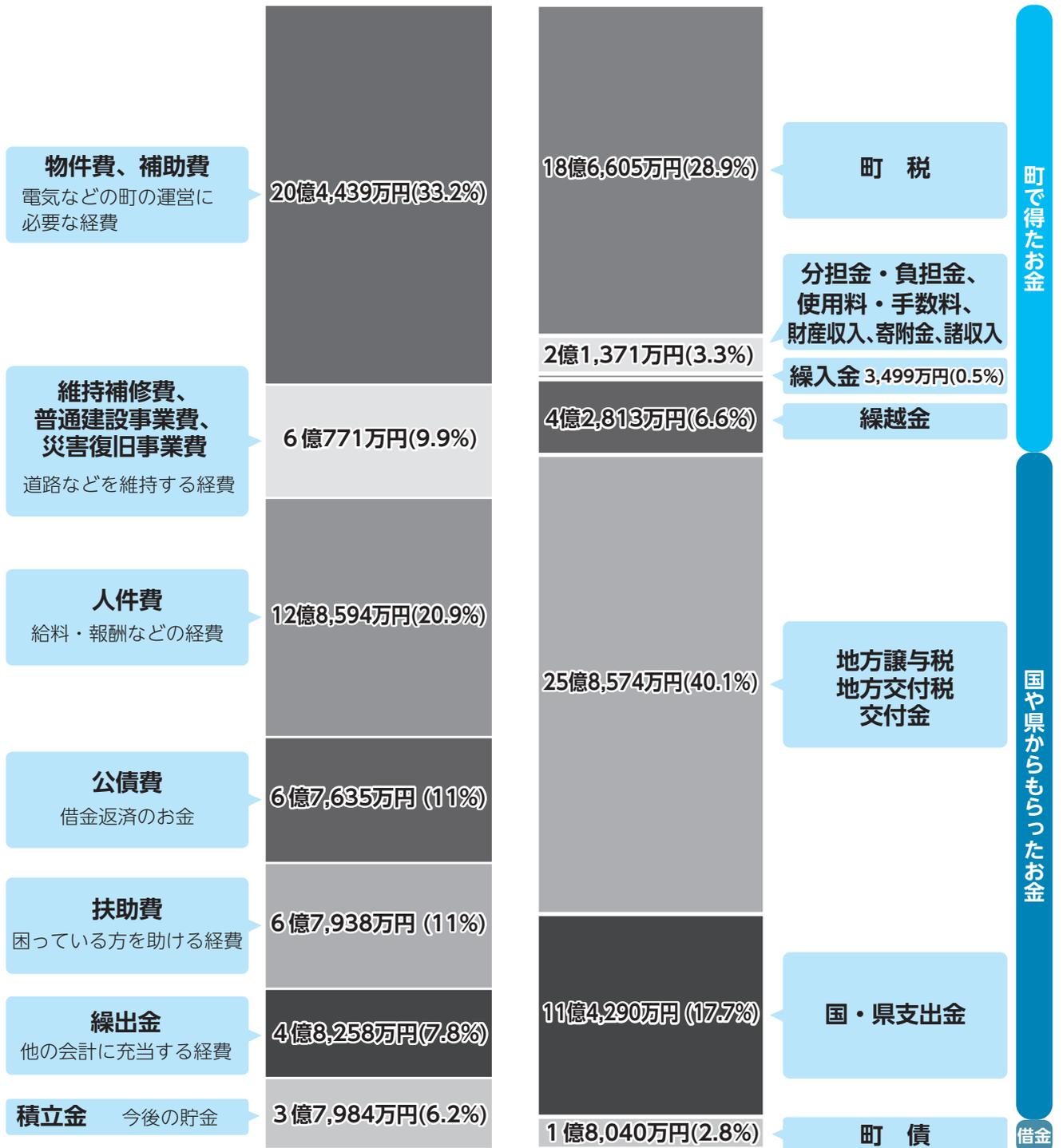


決算審査

かみかわの財政

町が使ったお金
61億5,667万円

町に入ってきたお金
64億5,192万円



※なお、「投資及び出資金、貸付金(48万円)」については、全体に対する割合がとて小さいため、グラフに含めていません。



町政を問う ～ 一般質問 ～

どの質問に興味がありますか？

P.8	P.7	P.7	P.7	P.7	P.6	P.6	P.6	P.6
町を通る道路管理	防災対策の充実	コロナ患者への助成	長期休暇中の 子供たちの居場所づくり	高齢者等のゴミ出し支援を	生成AIの教育現場への導入	障がい者について	青柳保育所の閉園後	学童保育について

定例会の概要

令和6年第4回定例会は、9月3日から17日までの15日間の会期で開かれ、町政に対する「一般質問（※2）」の他、町長から提案された令和5年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算の認定8件をはじめ、令和6年度一般会計及び特別会計の補正予算8件、報告2件、条例の改正等9件を審議しました。

また、議員提案の意見書も可決されました。（議案一覧及び審議結果は9ページ以降をご覧ください。）

「一般質問」とは（※2）

議員が町の施策、将来展望等の説明を町長などに求め、適切な町政運営を行っているかチェックするものです。

一般質問の全文は、議会事務局の会議録で閲覧することが出来ます。また、町ホームページの神川町議会からも閲覧できます。





川浦 雅子 議員

Q 学童保育について

安定した運営になるために

小学校統廃合に向けた協議の中に、学童保育の位置づけを明確に示し、また今後の方針について町の考えを伺う。

A 町長答弁

今後の進捗状況に応じ、協議の場を設け、情報共有を図り、利用者の希望や事業者の意見聴取に努める。

Q 青柳保育所の閉園後有効活用を

青柳保育所は地域に根差した施設であり、閉所後は幅広い世代の居場所として活用する考えはあるか。

A 町長答弁

町の公共施設再配置計画では、老朽化や耐震調査未実施により、安全性も課題があるため、解体する方針。

Q 障がい者について

障害者計画実効性の確保を

旧優生保護法の制定から廃止まで半世紀に及んだ。そのため、障がい者への偏見や差別は今も根深いと感じる。これらを無くするための活動の必要性が障害者計画にあるが、町の施策を伺う。

A 町長答弁

障害者計画実施のため、障がいのある人もない人も、基本的人権の尊重が保障されなければならぬ。障がい者に対する理解を深め、今後正しい知識の普及を推進し、啓発活動を行うっていく。



出典:「障害福祉サービスの利用について」(厚生労働省)



剣持 真菜美 議員

Q 生成AIの教育現場への導入

生成AIの

教育的利活用について

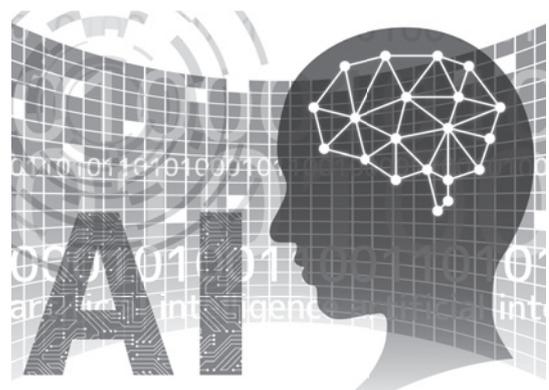
国のGIGAスクール構想を受けて、神川町では令和3年度より児童生徒、一人一台のタブレットが配布され、デジタルデバイスを利用できる環境が整った。

A 教育長答弁

生成AIが急速に普及する中で、次のステップとして、デジタル基盤を活用してチャットGPTなどの生成AI技術を教育現場にどのように取り入れるか、また教師に対する生成AIの活用法の支援や研修の計画について伺う。

生成AIの利用には個人情報流出や偽情報の拡散等のリスクが懸念される。一方、文部科学省のガイドブック等から、様々な授業場面での利活用の可能性があると認識している。現在、子どもたちの発達段階を踏まえ、導入に対して慎重に検討している段階である。

教職員向けの研修では、学校外での使用を含めた情報活用能力の向上が重要であり、先行事例や県教育委員会の指導助言を参考に研究していく。



一般質問

包括支援センターや社会福祉協議会等と連携しサービスの研究、また、今あるサービスが補えない課題があるのか十分精査し、費用対効果も考えながら検討していく。



出典：「高齢者ごみ出し支援制度導入の手引き」(環境省)

A 町長答弁

高齢化社会や核家族化が進むにつれてゴミ出しが出来なくなってしまう方が年々増加している。ゴミ袋を集積所まで運ぶのは、足腰の弱い高齢者や、障がい者の方には一苦労である。自治体などでゴミ出しが困難な方の自宅まで出向き、個別に収集支援が必要と考えるが町の考えを伺う。

Q 高齢者等のゴミ出し支援を



新井 太一 議員

町の介護保険サービスの充実



出典：「余裕教室の有効活用」(文部科学省)

夏休み中の子供たちの過ごし方については課題もあり、現状やニーズ把握に努め、子供たちの居場所づくりのため、空き教室を利用した学校開放や、学校で工夫できることなどを研究していく。

A 教育長答弁

Q 長期休暇中の子供たちの居場所づくり

夏休みの過ごし方

地球温暖化に伴い夏休み期間中、屋外で遊ぶことのハードルが高くなってきている。行き場所もなく自宅で過ごす子供たちの居場所づくりが必要と考える。現状の小中学生の夏休みの過ごし方をどのように捉えているのか、また今後の対応を伺う。

Q コロナ患者への助成



赤羽 奈保子 議員

新型コロナウイルスの治療薬の助成を

新型コロナウイルスが5類に移行され、ワクチン接種助成は高齢者に限定され、該当しない方はワクチン接種の支援も治療に対する支援も無くなる。町は重症化リスクが高い方への治療薬の負担軽減になる助成事業を行う考えはあるか？

A 町長答弁

10月から、65歳以上の高齢者と60歳から64歳までの重症化リスクの高い方には希望によりワクチン接種が始まる。これらの方にはワクチン接種費用軽減を行うとともに接種推進を図り、その他、基本的な感染防止対策となる手洗い、状況に応じたマスク着用等を引続き周知していく。

Q 防災対策の充実

防災対策の強化を！

要支援者に係る災害時の対応について、町では要支援者個別避難計画に沿った個々の状況等の把握はできていると思うが、もう少し踏み込んで、支援を必要とする方への避難場所、避難後の生活の拠点などの整備をしていくことが大切だと考えるが町の考えは？

A 町長答弁

人口の3割強が高齢者であり、災害時の避難行動が心配な方は増加している。町は「神川町災害時避難行動要支援者制度実施要綱」を策定し、要支援者登録台帳の整備を行ない、要支援者の特性把握を行っている。引続き、関係機関と連携しながら、災害時における福祉的支援の強化及び防災対策の充実を図っていく。



出典：「個別避難について」(内閣府)



坂本 貴佳 議員

Q 町を通る道路管理

町道覆う雑草について

どうかして、町道の雑草！
この時期町道に散見する雑草で、狭くなった道での接触事故、高い雑草による衝突事故の危険性が増す。これは農地の地先管理の意識の薄さが原因と考えられる、行政による危険場所の早期発見、指導により地先管理の意識徹底が急務である。町の方針を伺う。

国道254線の雑草について

安全で便利な歩道の確保を

国道254号は、町の直接的な管理ではないがケヤキやその周りの雑草により、危険を承知で歩道避け車道を利用する住民を散見する。町は管理する国に対し、このような状況を改善する様に要望し、解決するまで、その危険性の適切な住民周知が

必要と思うが、町の方針を伺う。

A 町長答弁

町道の雑草除去は現地確認し建設課や委託事業者により除草を実施している。また農地は農業委員会から、所有者に適正管理をお願いし、加えて、町道の不具合把握に関しては、建設課を中心に職員間の連絡を深め、早期対処を図る。

次に、国道254号関係は本庄県土整備事務所が管理し、限られた予算の中で定期的な除草を実施している。町としては定期的打合せの実施だけでなく、突発的不具合を確認時は、県と連絡を密にとり対応していく。



活動報告

令和6年度 児玉郡町議会議員 前期研修会

令和6年度児玉郡町議会議員前期研修会が令和6年8月1日(木)本町において開催。講師に埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)から男女共同参画専門員の黒須さち子氏を迎え、「災害・防災と男女共同参画」～避難所生活での課題～をテーマに講演を頂いた。顔の見える関係づくりの大切さや実際の災害避難事例も引用し、男女共同参画の視点の必要性を学んだ。



ギカイの視点! とらわれない!

女性、男性の固定的な役割分担にとらわれず、様々な活動に参画していける条件を整備していくことが必要である。また、行政施策が女性と男性に実質的にどのような影響を与えるかなど、男女共同参画社会の形成に与える影響について1つずつ再確認していきたい。

9月定例会議案一覧及び審議結果「決算関係」

議案名等と主な内容		審議結果
町長提出議案	令和5年度神川町一般会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額64億5191万5324円、歳出総額61億5666万5948円の決算を認定した。	△
	令和5年度神川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額15億8301万5670円、歳出総額15億6139万6940円の決算を認定した。	△
	令和5年度神川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額1億6214万5590円、歳出総額1億5540万2419円の決算を認定した。	△
	令和5年度神川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額12億1241万4252円、歳出総額11億3107万7312円の決算を認定した。	△
	令和5年度神川町営バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額1017万1431円、歳出総額992万4437円の決算を認定した。	○
	令和5年度神川町観光事業特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額1013万5489円、歳出総額975万6029円の決算を認定した。	○
	令和5年度神川町水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について 事業収益が3億867万8059円、総費用が3億189万7611円、資本的収入が1413万6千円、支出が9520万6684円の決算を認定した。	○
	令和5年度神川町下水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について 事業収益が1億4764万165円、総費用が1億1314万4465円、資本的収入が1413万6千円、支出が9520万6684円の決算を認定した。	○
	令和5年度神川町健全化判断比率について	報告のみ
令和5年度神川町資金不足比率について	報告のみ	

9月定例会議案一覧及び審議結果「予算」

議案名等と主な内容		審議結果
町長提出議案	令和6年度神川町一般会計補正予算（第3号） コロナ予防接種委託・給食センター設備修繕並びに障害児保育対策費補助などを増額。歳入歳出各1億6424万円を増額し、補正後総額を歳入歳出各63億1958万3千円とする。	○
	令和6年度神川町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出各2472万円4千円を減額し、補正後総額を歳入歳出各15億3376万8千円とする。	○
	令和6年度神川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 令和5年度繰越額確定による一般会計繰入金の減額、歳出の財源振替を行うとともに、還付金等の増額を行う。	○
	令和6年度神川町介護保険特別会計補正予算（第2号） 令和5年度の決算額確定に伴い国庫支出金等の精算を行う。	○
	令和6年度神川町営バス事業特別会計補正予算（第1号） 町営バス運行に係る備品購入費127万円を増額する。	○
	令和6年度神川町観光事業特別会計補正予算（第1号） 城峰公園事業に係る備品購入費52万円を増額する。	○
	令和6年度神川町水道事業会計補正予算（第1号） 歳入歳出各312万5千円を増額し、補正後総額を歳入歳出各3億75万円とする。	○
	令和6年度神川町下水道事業会計補正予算（第1号） 第3条予算の支出から4万円を増額し、補正後の額を1億1901万6千円とする。	○

※【審議結果】○全員賛成(可決) △賛成多数(可決) ×賛成少数(否決)

● ● ● ● 9月定例会議案一覧及び審議結果「条例・契約等」 ● ● ● ●

議案名等と主な内容		審議結果
町長提出議案	神川町国民健康保険条例の一部を改正する条例 行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備等により所要の改正を行う。	△
	神川町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例 特定家庭用機器再商品化法施行令の一部改正に伴い、所要の改正を行う。	○
	神川町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 介護保険法施行規則の一部改正に伴い、所要の改正を行う。	○
	神川町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 介護保険法施行規則等の一部を改正する省令の施行に伴い、所要の改正を行う。	△
	神川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 地方自治法の一部改正に伴い、所要の改正を行う。	○
	神川町営神流湖テニスコート条例を廃止する条例 テニスコートの老朽化により廃止する。	○
	埼玉県後期高齢者医療広域連合規約の変更について 規約変更することについて協議を行う。	△
	本庄地域定住自立圏の形成に関する協定の変更について 協定変更することについて協議を行う。	△
物品購入契約の締結について スクールバス購入の物品購入契約を締結する。	○	
議員提出議案	75歳以上の自動車運転免許更新時の利便性向上を求める意見書について	○

※【審議結果】○全員賛成(可決) △賛成多数(可決) ×賛成少数(否決)

● ● ● ● 各議員の賛否の状況(全員賛成の議案等を除く) ● ● ● ●

議案名等と各議員の賛否 賛成：○ 反対：×		1 剣持真菜美	2 新井 太一	3 四方田繁男	4 田中 隆久	5 福島 康弘	6 川浦 雅子	7 野口 弘吉	8 坂本 貴佳	9 堀川 光宣	10 赤羽奈保子	12 柴崎 愛子	議決等の結果
町長提出議案	令和5年度神川町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	-	可決
	令和5年度神川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	-	可決
	令和5年度神川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	-	可決
	令和5年度神川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	-	可決
	神川町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	-	可決
	神川町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	-	可決
	埼玉県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	-	可決
	本庄地域定住自立圏の形成に関する協定の変更について	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	-	可決

※ - 柴崎愛子議長（議事進行）は採決に加わりません。 - 田中隆久議員、療養のため欠席です。

意見書について

「75歳以上の自動車運転免許更新時の利便性向上を求める意見書」については、道路交通法の規定により、75歳以上の運転免許を持っている方の免許更新時に行われる“認知機能検査”が、現在、遠方の警察署で実施されています。高齢のドライバーにとっては、身近な警察署で実施されることが安全性・利便性の点からも不可欠と考え、町議会として、埼玉県及び埼玉県公安委員会に対し要望を行いました。

8月臨時会会議案一覧及び審議結果

議案名等と主要内容	審議結果
令和6年度神川町一般会計補正予算（第2号） スクールバスの債務負担行為の追加及び廃止	○

※【審議結果】○全員賛成(可決) △賛成多数(可決) ×賛成少数(否決)

議案名等と各議員の賛否 賛成：○ 反対：×	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	議決等の結果
	剣持真菜美	新井 太一	四方田繁男	田中 隆久	福島 康弘	川浦 雅子	野口 弘吉	坂本 貴佳	堀川 光宣	赤羽奈保子	柴崎 愛子	
令和6年度神川町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	可決

※－ 柴崎愛子議長（議事進行）は採決に加わりません。－ 田中隆久議員、療養のため欠席です。

田中隆久議員 逝去

田中隆久議員に心より哀悼の意を表します

田中様は、去る10月24日に急逝されました。69歳でした。

田中様は、平成31年4月の議会議員選挙において、見事初当選され、以来2期6年にわたり神川町議会議員として、卓越したご見識と豊富な経験を生かし、多方面にわたるご活躍を続けられていました。

議会を通して、共に歩んだ日々を想い、ただひたすらにご冥福をお祈りするばかりですが、ご生前の幾多のご功績は、今後いよいよ実を結び、この地に息づくことと存じます。

私たち議員一同、あなたのご遺志を引継ぎ、町政発展のため、全力を傾注することをお誓いいたします。

田中様を偲び、惜別の情はつきませんが、謹んで哀悼の意を表し、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

神川町議会議員一同



議 会 活 動 報 告

総務経済常任委員会協議会

令和6年9月9日（月）に総務経済常任委員会協議会を開催し、矢納地区内の貸付町所有地に建設中の民営グランピング施設について、総合政策課職員並びに事業者から開業に向けた進捗状況を確認しました。

下久保ダムを見下ろす、景観の良いグランピング施設になるとの説明を受けました。観光誘



客の取組みは、地域の恵みや持ち味を大切にして行われる部分が多々ありますが、建設中の施設はこれまでにない、町の魅力を、新たな価値観を持たせて提供するスタイルで運営計画を立てている事を確認でき、固定観念にとらわれない観光推進の重要性を感じました。

文教厚生常任委員会協議会

令和6年9月10日（火）、文教厚生常任委員会協議会を開催し、町民福祉課から「神川町認定こども園」開設にあたっての現神川幼稚園舎改修の準備状況、開園に向けての課題及びその対応についての説明がありました。令和7年度の園舎改修を着工、令和8年度開園に向け計画に沿った進捗状況が確認できました。また、町内4か所の学童保育所の運営状況についても説明があり、子供たちが安全で安心して過ごせる居場所づくりの確保について再認識しました。



スマホで議会！

スマホでQRコードを読み込むと「町HPから神川町議会のページ」が閲覧できます。

3月定例会は、3月4日（火）から開催予定です。



編集後記

師走の暦を目の前にして、早いもので1年がもう終わろうとしています。皆様にとってどのような1年だったでしょうか？さて、今回の議会だよりは決算特集です。令和5年度の予算がどのように使われたのかを審査しました。

今後ともよりわかりやすい議会だより、議会が身近に感じていただけるような紙面作りを目指し頑張っていきます。

お気づきの点はご意見をお願いします。

（赤羽奈保子）

議会だより編集委員会

- ・委員長 赤羽奈保子
- ・副委員長 川浦 雅子
- ・編集委員 野口 弘吉 田中 隆久
- 新井 太一 剣持真菜美
- アドバイザー（議長） 柴崎 愛子

